

竹刀をば振りて打たんと決しなば

起こす刹那にすべて捨てきれ

腕力抜けて冴えある打撃をば

求めて軀体正すべきなり

勝ちたいと思う邪念のおこりなば

それに打ち克ち盡心求めよ

遠間にて敵の心を観きわめて

時に仕掛けよ 時に引き出せ

間をつめて打つ身の構えとこのえて

慌てず敵の心をばうつけ

先取りて敵の拳動を封ずれば

崩し誘いは我の意のまゝ

機をとらえ氣当り重ね施して

起こり頭は許さずに打て

先取られ敵の初動に遅れなば

氣構え崩さず打たれるがよし

起こりをば捕らえられして打たれなば

臆せず次も捨てゝ打ち出せ

稽古とは正劍求め誇りかけ

邪劍嫌うた心の修行ぞ

残心は身の均衡と氣の張りど

目付け外さぬ構えとぞ知れ

道歌続編 正武識

平成二十八年 正月